

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	佐賀県	事業実施主体	伊万里市	地域再生計画名	伊万里市「人がいきいきと活躍する幸せ実感のまちづくり計画」
計画期間	令和２年度～令和６年度	評価責任者	伊万里市 上下水道部長 山口 令子		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
	目標 1	農業集落排水施設の維持管理費	12, 799 千円	H 3 0	11, 772 千円	R 4	12, 258 千円	11, 772 千円		R 6	12, 502 千円		△	指標 総数
			目標 2	浄化槽設置区域での汚水処理人口 普及率の向上	32. 3%	H 3 0	37. 6%	R 4	38. 4%	40. 0%	R 6		42. 5%	○
②事業の実施状況に関する客 観的な指標（KPI）の実現状 況	重要業績評価指標（KPI）		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況				
	指標 1	農業集落排水施設の維持管理費	12, 799 千円	H 3 0	11, 772 千円	R 4	12, 258 千円	11, 772 千円			R 6	12, 502 千円	－	
	指標 2	浄化槽設置区域での汚水処理人口 普及率の向上	32. 3%	H 3 0	37. 6%	R 4	38. 4%	40. 0%	R 6	42. 5%	－	同上		
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度 (R4)	最終実績									
	地域再生計画に記載があ る特別の措置を適用して 行う事業	農業集落排水施設機能強化対策事業		一式	一式	一式	当初の計画に対し、令和4年工事完了から1年延長し、令和5年度に事業を完了した。今後も適切に更新工事をおこなうことで、維持管理費の削減に努めていく。							
		浄化槽設置促進事業（設置基数）		300基	176基	300基	当初計画300基(年60基×5年)に対し、最終実績は300基となり、全体期間を通して計画通り事業が実施できた。 (R2:58基 R3:54基 R4:64基 R5:64基 R6:60基)							
	その他の事業													
計画外で独自に実施した 事業		汚水処理場事業の普及啓蒙活動		下水道整備により健康で快適な生活 環境が確保された「まち」を目指す			公共下水道区域及び農業集落排水区域における、未接続世帯へ接続勧奨を行った。合併処理浄化槽区域に対しては設置促進チラシの配布を行った。 また、汚水処理事業をPRするため、市のホームページ等を活用しての情報発信を行った。							
④評価方法		伊万里市地方創生汚水処理施設整備推進交付金事業評価委員会による評価（令和7年7月24日）												
⑤事後評価の公表方法		伊万里市上下水道部のホームページに掲載												
⑥計画全体の総合評価		本地域再生計画では、汚水処理交付金を活用して農業集落排水施設の改修と合併処理浄化槽の普及促進を一体的に実施することで、農業用水としても利用される公共用水域の水質保全を図るとともに、衛生的な生活環境を整備することを目的としてい た。 農業集落排水施設の維持管理費では、人件費の高騰や動力費の値上げ等の影響もあり維持管理費の削減は最終目標には達していないが、修繕料の減など更新工事の成果は現れている。 浄化槽設置区域での汚水処理人口普及率では、計画期間内に合併処理浄化槽を300基設置した結果、合併処理浄化槽の利用人口が1,340人増加したことで最終目標を達成することができた。												
⑦今後の方針等		令和7年度から「地方創生汚水処理施設整備推進交付金」が「新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）」に制度が再構築されることで、内容を精査した結果、今後の伊万里市の汚水処理事業は、農業集落排水事業は農業農村整備事業 で、浄化槽設置促進事業は循環型交付金でそれぞれ整備を行うことで、より快適な住環境の確保と公共用水域の水質保全を進めて行く。												